

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成29年1月12日(2017.1.12)

【公開番号】特開2015-100323(P2015-100323A)

【公開日】平成27年6月4日(2015.6.4)

【年通号数】公開・登録公報2015-036

【出願番号】特願2013-244044(P2013-244044)

【国際特許分類】

A 2 3 L 7/109 (2016.01)

B 3 2 B 27/32 (2006.01)

【F I】

A 2 3 L 1/16 C

B 3 2 B 27/32 E

A 2 3 L 1/16 J

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月25日(2016.11.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

メルトフロー率が0.1～5g/10分であり、且つ密度が930kg/m³以下であるポリエチレンと、メルトフロー率が0.1～10g/10分であり、且つ融点が140以上であるポリプロピレンとを含有するオレフィン樹脂組成物からなり、

前記ポリエチレンと前記ポリプロピレンとの質量比が25：75～70：30である冷凍麺製造用トレー用シート。

【請求項2】

ヘイズ値が10%以上である、請求項1に記載の冷凍麺製造用トレー用シート。

【請求項3】

前記ポリエチレンのスウェル比が1.2以上である、請求項1又は2に記載の冷凍麺製造用トレー用シート。

【請求項4】

厚みが250～1500μmである、請求項1～3のいずれか一項に記載の冷凍麺製造用トレー用シート。

【請求項5】

請求項1～4のいずれか一項に記載の冷凍麺製造用トレー用シート、又は当該冷凍麺製造用トレー用シートを少なくとも一層備え、且つ当該層の厚みが全体の50～100%を占めるシート積層体から形成される冷凍麺製造用トレー。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、メルトフロー率が0.1～5g/10分であり、且つ密度が930kg/m³以下であるポリエチレンと、メルトフロー率が0.1～10g/10分であり

、且つ融点が140℃以上であるポリプロピレンとを含有するオレフィン樹脂組成物からなり、ポリエチレンとポリプロピレンとの質量比が25：75～70：30である冷凍麺製造用トレー用シートを提供する。かかる冷凍麺製造用トレー用シートによれば、耐寒衝撃性、真空成形時のドローダウンの抑制性及びひねりに対する耐性をバランス良く有する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

ポリエチレンの密度は930kg/m³以下である。この密度は、トレーの耐寒衝撃性を向上させる観点から、928kg/m³以下であると好ましく、926kg/m³以下であるとより好ましく、924kg/m³以下であるとさらに好ましい。また、この密度の下限は特に限定されないが、例えば、900kg/m³以上とすることができる。

なお、ポリエチレンの密度はJIS K7100に準拠し調整を行った試料について、JIS K7112-1980のうち、A法に規定された方法に従って測定される値である。